

# 初冬の甲斐道散策

(空間放射線量の測定)

平成29年11月09日

「考えよう街創り」の筆者が11月8日及び9日で青梅街道を利用して奥多摩湖から柳沢峠を越えて初冬の甲斐道の散策をして来ました。天候にも恵まれ、石和温泉に一泊し古寺、ワイナリーの見学及び地域の空間放射線量の測定も行ってきました。空間放射線量日東大和市南街・桜が丘地域に比べ奥多摩の山中は多少高めですが、甲府盆地はほぼ同等の数字が観測されました。

## 奥多摩湖



奥多摩付近；空間放射線量(5 c m)；0.089  $\mu$ Sv/h (5回測定平均値)

## 紅葉が大変綺麗です





多摩川の源流の流れ



柳沢峠から富士山を望む



柳沢峠；空間放射線量(5 c m)； $0.072 \mu\text{Sv/h}$  (5回測定平均値)

浄土宗 善光寺  
 定額山 金堂 宝物館  
 鳴龍 戒壇廻り  
 1階に手洗所 休憩所があります

定額山浄智院善光寺由来  
 定額山浄智院善光寺は、武田信玄公が、永祿年中、川中島の合戦の折、信濃善光寺が兵火にかかるのを恐れ、本尊阿彌陀如来その他、諸仏、寺宝、大梵鐘に至るまで、ことごとく甲斐に招来し、大本願第三十七世鏡空上人を開山に迎へ、信濃善光寺開基本田善光公追葬の地、ここに板垣の郷に新たに建立せられたものである。  
 その後、江戸時代にも歴代国主の帰依と保護を受け、浄土宗甲州触頭として、金堂、山門、三重塔、鐘樓をはじめ、本坊三院十五庵の大伽藍を有し、莊嚴を極めるに至った。ところが、宝暦四年二月、門前の農家の失火により類焼し、堂塔ごとく鳥有に帰してしまつた。そこで、中興を費して、性善上人が再興勸進に奔走し、三十有余年の歲月を費して、寛政八年八月、金堂が落慶した。  
 これが現在の伽藍で、昭和三十年六月、金堂、山門共に重要文化財に指定され、同三十二年より五年間にわたり大修理が行なわれた。金堂は、日本有数の大建築として著名である。  
 本尊は、建久六年、尾張の僧定尊が、靈夢により造立した金銅善光寺式一光三尊阿彌陀如来像で、重要文化財の指定を受けている。このほか、文祿年間、甲斐国主浅野長政公が他寺より勧坐した、木造阿彌陀三尊像二組も、それぞれ重要文化財である。また、具指定文化財の、木造源頼朝像、木造釈迦涅槃像、当麻曇茶羅圖、梵鐘など多数の寺宝を所蔵している。寺域には、文祿二年、朝鮮の役で戦病死した国主加藤光泰公の墓所などもある。  
 当山は、創建以来時に盛衰はあつたが、全国の深い尊徳を集め、今日に至つて、



善光寺付近；空間放射線量(5 cm)；0.041  $\mu$  Sv/h (5回測定平均値)

武田神社



名水「姫の井戸」  
武田水琴窟  
こちら



「武田水琴窟」  
土中に底に小さな穴を  
あけ方々を掘り、そ  
こにわすかな水を溜す。  
水はその穴から水滴と  
なつて落ち、カメの中  
で反響し、琴の音にも  
似た雄大な音色を池中  
に響かせる。  
江戸開、文化文政の時  
代に庭園によって案  
されたこの技術は、茶  
室につくばいや座巻の  
手水鉢に設えられ、数  
奇者たちは愛でられ、  
昨今は「癒し」の音と  
して注目を集めており  
ます。  
※竹筒に耳をつけてお聞きください。  
※鉢の水はけっしてかき出さないでください。  
武田神社 社務所

武田神社付近；空間放射線量(5 cm)；0.048 $\mu$ Sv/h(5回測定)